



皆さんこんにちは、元気にお過ごしですか？いよいよ夏の本番ですね。学校の夏休みも始まり、もうすぐお盆です。皆さんは今年の夏、どこか行きたいところを考えていますか。もう決めましたか？それとももう行ってききましたか？

さて、今回は、ドイツ人の夏休みの過ごし方を紹介したいと思います。ドイツ人は、夏休みによく休暇をとって旅行します。まず、ドイツの夏休みは6週間程度あります。いいですね。期間は7月から9月にかけて、全国同時ではなく各州で1、2週間ずつずれています。ですから、全国で全員が同じ期間に休みをとり、飛行機に乗り、車でアウトバーン（ドイツの高速道路）を走ることを避けるような制度です。

夏休みには、国内外で新しい経験をしたいと思っている方もたくさんいらっしゃると思いますが、それにはとらえず仕事を休まないに行けません。そこで問題があります。日本人とドイツ人の習慣の違いというのは仕事・職場に対しての考え方やあり方です。日本では、仕事をしている方々（一般従業員、サラリーマン、公務員など）が、1年間で何日間の有給休暇（企業、組織により様々でしょう）を取る権利を与えられることが当たり前と考えられているのでしょうか。1年中一生懸命働いて1日の休暇を取ることも難しいというのは、私にとっては本当に不思議ですが、日本では珍しくないようです。どうしてかしら？休みたくないのでしょうか。そうでもないですよ。1年間休暇をとれないのは、給料の1か月分損をするのと同じです。金銭面でもそうですが、もうひとつはモチベーション。私にとってはこちらの方が重要なことで、仕事のために生きているのではなく、人生のために仕事をしているという考え方が、ドイツだけではなくヨーロッパでの人生観です。

職場で忙しい時があることは間違いありません。それは皆さんもよく知っていて、経験したこともあると思いますが、それこそどこかで休みをとって、ストレスを抜き、職場での緊張感を忘れられる時期をつくらないといけなと思います。休みをとらない皆さんはどのようにモチベーションを高めているのかと、よく不思議に思います。

ちなみに、ドイツでは少なくとも24日間の休暇をとることができ、多くのドイツ人はこれを遠慮しないで消化します。休暇の時期は自由に選べますが、人気のあるシーズン（夏休みなど）のことは、新年が始まったとたんに他の同僚と話し合い、交代で休暇を調整し、いつどこに行くのか一生懸命考えて計画を立て、楽しみにしています。

夏休みを「日焼け」や「海水浴」と結びつけるドイツ人の一番人気は地中海、いわゆるスペイン、イタリア、ギリシャなどのきれいな海と海岸を持つ国々です。山が好きな人はオーストリアやスイスのアルプスでハイキングやマウンテンバイクなどをします。ドイツ国内では、北海、バルト海や自然あふれるバイエルン州が人気です。夏休みは、「気分転換」や「気晴らし」が大きな目的ですが、休暇の使い方はいろいろです。男性では「スポーツ」や「自然」、女性では「健康」や「エステ」に人気があります。しかし、休暇をとっても旅行しないで家でゆっくり掃除したり、ガーデニングをしたりするドイツ人もいます。太陽や海や日焼けが大好きですから！本を読んだり、友達としゃべったり、のんびりしたりもしました。もちろん歴史的、文化的なところに出かけることもしました。今はアジアの大都市に行くことが好きになりましたが、できればホテルのプールやビーチで太陽を楽しむこともできたら、最高です。

皆さん、それぞれの夏休みを楽しくするために計画を練って、たくさんのおところに行ってみてください。でも、体を休ませる時間も忘れずに。いってらっしゃい!!!旅のレポートをお待ちしています。

### 「ドイツ・ミュンヘン大学生と市民の交流会」

下野市の特産品である夕顔でふくべ細工作りやクイズ等をして、交流を深めませんか？

- 日時 8月26日(火)  
午後1時30分～4時(1時受付開始)
- 場所 きらら館 研修室と調理室
- 定員 30名(小学生低学年は保護者同伴)
- 参加費 1作品 500円
- 持ち物 太・細筆 各1本、筆をふくための雑巾、うわばき(小学生のみ)
- 申込 8月11日(月)から20日(水)までに生活課(40-5555)へお申し込みください。  
なお、8月26日までに絵柄を考えてください。
- 主催 下野市国際交流協会交流委員会

### ミュンヘン大学生8名が来日します

8月18日(月)から8月31日(日)まで下野市国際交流協会主催の「第16回グリムの里夏期日本語講習会」が開催されます。ドイツのミュンヘン大学から8名の学生が下野市を訪れ、市内にホームステイしながら日本語や文化について学びます。20日(水)は市内見学で天平の丘公園などを訪れます。28日(木)の午前中は、市勤労青少年ホームで着物の着付け体験を行ないます。着付け後は施設周辺を散策し記念撮影などをしますので、市民の皆様にも大学生たちの晴れ姿をご覧いただけます。また、26日(火)に交流委員会による交流会(夕顔でふくべ細工作り)もありますので、皆さまの申し込みをお待ちしています。

問い合わせ先

生活課 ☎40-5555